

# ChatGPTってなに？

**Keyword** OpenAI / 人工知能 / 自然言語処理

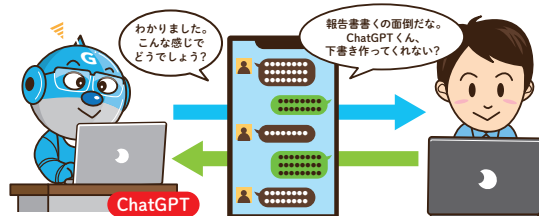
ChatGPTは、**OpenAIによって開発された人工知能 (AI) テクノロジー**。GPTとはGenerative Pre-trained Transformer (ジェネレーティブ・プリ・トランスフォーマー) の略で、直訳すると生成可能な事前学習済みの変換器という意味になります。ChatGPTの最大の特徴は、人間と同様の自然な文章でのコミュニケーションができること。**表現力が高く、さまざまなニュアンスや文脈を理解することができます**。これにより、質問に対して適切な回答を提供するだけでなく、創造的な物語や複雑な文章を生成することが可能となっています。

## ChatGPT への期待

ChatGPTは、あらゆる業界で利用されており、顧客サポートから教育、コンテンツ制作まで幅広い分野で活用されています。また、開発者向けのAPIも提供されており、多くのアプリケーションやサービスに統合されることで、さらなる利便性向上に貢献しています。

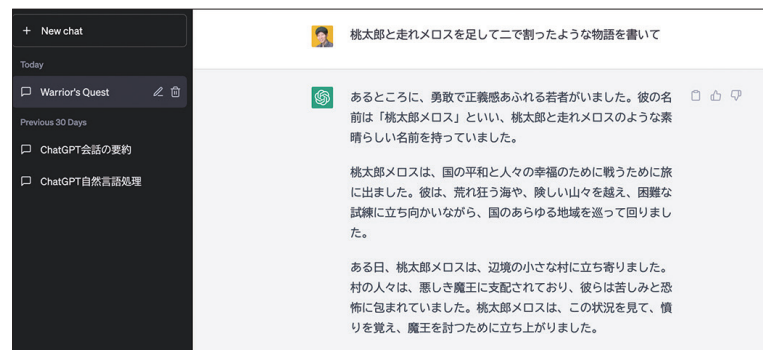
ChatGPTの応用範囲は広く、情報検索や業務支援はもちろん、翻訳や文章校正、データ分析などの専門的なタスクにも対応できます。また、エンターテインメント分野でも使われるなど、多岐にわたる用途が期待されています。

ChatGPTは、人工知能の未来を切り開く鍵とされており、その発展によって人々の生活が大きく変わることが予想されます。しかし、同時に倫理やプライバシーに関する懸念も存在しており、技術の責任ある活用が求められています。

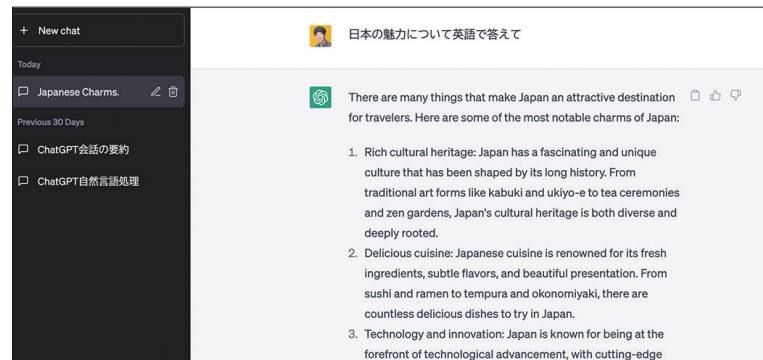


## ChatGPT はどんなことができるの？

ChatGPTは人工知能により、質問に答える、対話を行う、文章を要約する、翻訳する、記事を作成するなど、あらゆるリクエストに応えます。さまざまなトピックに適切な回答を提供し、私たちと自然な形でコミュニケーションします。Webサービスやアプリと統合できるため、日常的に使っているツールに組み込めば、より使いやすくなるでしょう。ただし、ChatGPTに蓄えられた知識は2023年現在では2021年9月までのものに限られているため、情報のリアルタイム性はありません。ChatGPTを使うときは、内容の正確性ととともに、この点にも注意しておきましょう。



ChatGPT は、指示を与えることで文章を生成します。物語などをつくることも可能です



ChatGPT はさまざまな言語で利用できます。指示をすれば翻訳も可能です。

# ChatGPTと対話する

**Keyword** 対話／自然言語処理

ChatGPTは、ユーザーからの質問や要望に対して自然言語処理で回答します。質問や要望を入力すると、それに対して、まるで人と会話しているかのように自然な文章でリアクションが返ってきます。

## 対話する

ChatGPTに質問するのは簡単です。例えば、「ChatGPTについて教えて」というように、普段会話で使っているような言葉で指示すれば、それに対する回答が表示されます。



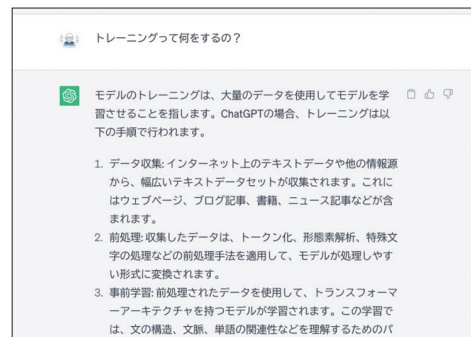
日常会話のように  
質問・指示できます。

### Memo

自然言語処理 (Natural Language Processing) とは、人が日常的に使っている言語を機械で処理・分析する技術のこと。

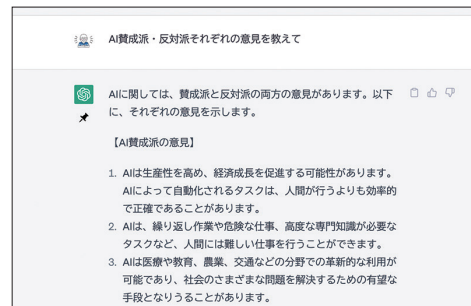
## 対話を続ける

ChatGPTは、前に対話した内容も覚えており、その内容も考慮した返答を作成します。そのため、1つの問いに対して何度も対話を繰り返すことで知りたいことに近づけていくことができます。



## 役割を与える

ChatGPTに役割を与えると、質問に対する回答が変わります。例えば、ある質問に対して賛成派・反対派それぞれの役割を与えれば、その役割に合わせた回答が返ってきます。



### Memo

1回の応答で約2000文字までのテキストを生成します。長いテキストを生成するには、何回かに質問を分ける必要があります。

# プロンプトとは

**Keyword** Zero-shot プロンプティング / Few-shot プロンプティング / Chain-of-Thought プロンプティング

AIの言語モデルは、膨大な量のテキストデータを学習することで、受け取った入力に基づいてまるで人が書いたようなテキストを生成することができますが、効果的な指示（プロンプトと呼ばれます）がなければ、無関係ないしは無意味な応答を生成することがあります。プロンプトエンジニアリングとは、適切な出力を実現するために入力プロンプトを設計・改良することで、AI言語モデルと人間との対話を最適化するための技術のこと。AI言語モデルが文脈に応じた適切な応答をする上で、重要な役割を担っています。

## 基本的なプロンプトエンジニアリング

ChatGPTは、入力された言葉に続く最も適切だと思われる単語を予測し、文章を作成していきます。そのため、「昔々」という入力に対しては「おじいさんとおばあさんが住んでいました」というように、続けることができるのです。

「昔々」からはじまるおとぎ話を書いてほしいのであれば、このプロンプトでいいのですが、「昔々」という言葉の説明をしてほしいという場合には、適切な出力とはいえません。そこで、こういった作業をChatGPTにしてほしいのかプロンプトで伝える必要があるのです。プロンプトできちんと指示をすることで、想定した出力を得やすくなります。

指示を明確にする

### プロンプト例

五里霧中という言葉に続く文章を完成させてください。

### 回答例

五里霧中の中、道を見失った私たちは迷い込んだ。身の危険を感じながらも、勇気を振り絞って進むしかなかった。視界は曇り、未知の道は分からず、心は不安に包まれた。……（後略）

### プロンプト例

五里霧中の意味を教えてください。

### 回答例

「五里霧中（ごりむちゅう）」は、日本語の四字熟語であり、ある特定の状況を表現する言葉です。直訳すると「五里の距離の中で霧に包まれること」となりますが、一般的な意味としては「方向や目的が見えず、進むことが難しい状態」……（後略）

## Zero-shot プロンプティング

AIモデルに事前情報などを与えなくても、適切な応答を生成することを「Zero-shot プロンプティング」といいます。非常にシンプルに使えるプロンプトエンジニアリングですが、常に適切な応答を生成するという保証はありません。より適切な応答を生成するためには、他の手法を試してみる必要があるでしょう。

### プロンプト例

暑い日はどうしたらいい？

ランチは何がおすすめ？

## Few-shot プロンプティング

「Few-shot プロンプティング」は、AI言語モデルにいくつかの例を与えることで、特定のタスクに対する適切な応答を生成させるプロンプティング手法です。これにより、与えられた例からパターンや目的を推測し、新しい入力に対しては適切な応答を生成します。

<言葉・文/感覚>という例を与えています。

ここでは区切り記号として「/」を使っていますが、「→」や「:」など別の文字で区切ることもできます。

### プロンプト例

楽しい/ポジティブ  
つまらない/ネガティブ  
この本はわかりやすい/ポジティブ

上記のパターンから「お腹が痛い」という文に対する回答を推測させようとしています

お腹が痛い/

### 回答例

ネガティブ

Few-shot プロンプトを使うことで、ChatGPTが学習していない言葉を使った文章をつくることもできます。新語や流行語などを使った文章をつくる場合、文例を示すことで単語や文脈を理解し、文章を作成します。

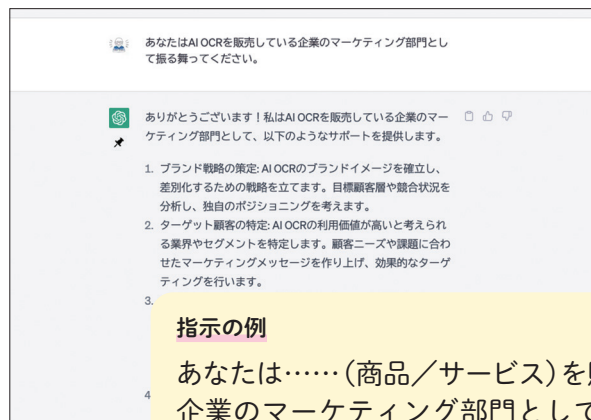
# 市場のトレンドを調査する

**Keyword** 役割／ロールプレイ／ニーズ

市場のトレンドについて調査する場合、リアルタイム性には少し考慮する必要がありますが、大きな流れを捉えるのにChatGPTを活用することができます(Plusユーザーであれば最新の情報にアクセスも可能→P.142参照)。まず、調査したい市場や顧客などについての情報をChatGPTに与え、トレンドやニーズを把握していきましょう。

## 役割を与えてロールプレイングする

### 1. 必要な情報を与える



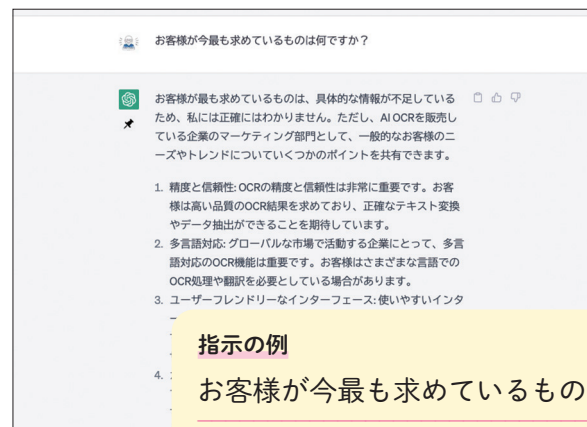
#### 指示の例

あなたは……(商品／サービス)を販売している企業のマーケティング部門として振る舞ってください。

#### Memo

不足している情報についてもChatGPTに聞くことができます。特に調査している場合などには、ChatGPTに「足りないと思う情報があれば教えて」というように問い合わせ、アドバイスをもらおうといいでしょう。

### 2. 競合や潜在ニーズについて調べる

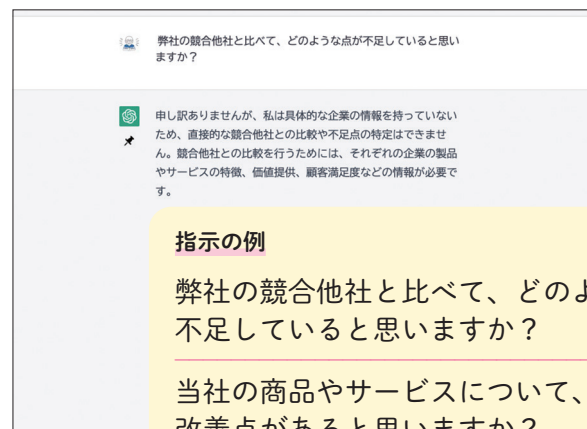


#### 指示の例

お客様が今最も求めているものは何ですか？

今後、お客様が求める商品やサービスはどのようなのだと予想されますか？

### 3. 改善点や重要なポイントについて把握する



#### 指示の例

弊社の競合他社と比べて、どのような点が不足していると思いますか？

当社の商品やサービスについて、どのような改善点があると思いますか？

お客様にとって最も重要な商品やサービスの特徴は何だと思えますか？

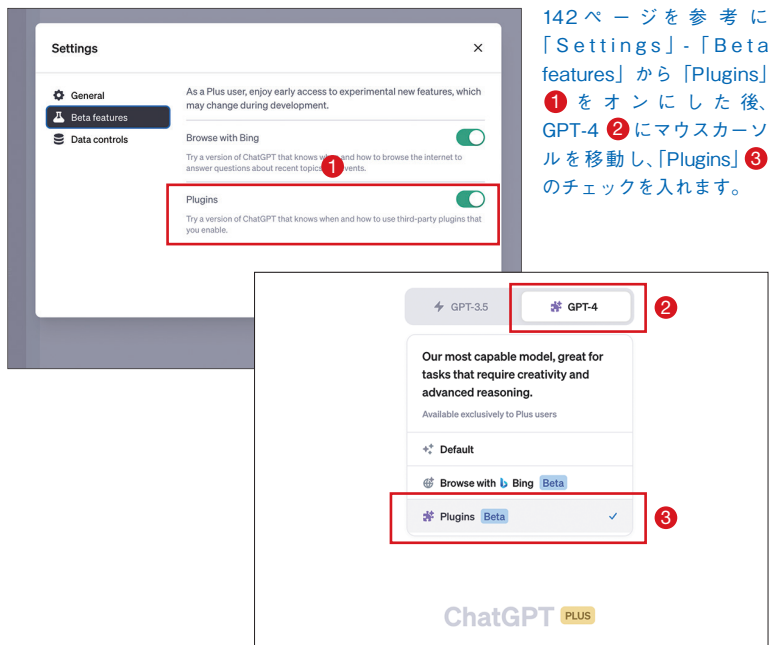
# プラグインを使う

**Keyword** ChatGPT Plus / GPT-4 / プラグイン

有償で提供されている ChatGPT Plus では、「Beta features」としてプラグイン機能が提供されています。この機能により、さまざまなサービスと ChatGPT とを連携できます。

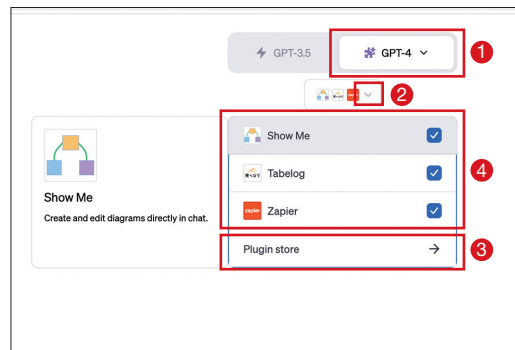
## 設定をする

プラグインを使うには、「Settings」の「Beta features」から「Plugins」をオンにする必要があります。



## プラグインを選ぶ

Plugin storeでプラグインをインストールした後、ChatGPTで使うプラグインを選びます。Plugin storeにはさまざまなプラグインが登録されているので、使いたいプラグインを選ぶと、ChatGPTに組み込まれます。



GPT-4 ①にマウスカーソルを移動し、②をクリックします。「Plugin store」③から、使用したいプラグインをインストールします。ChatGPTで使うプラグイン④を選びます。

## プラグインを使う

Tabelogを例にプラグインの使い方を説明します。「今夜予約できるお店を教えてください」というように指示をすることで「食べログ」サイトから情報を収集し、回答します。



Tabelogのプラグインを使った例。プラグインを使うことで、ChatGPTの活用幅が広がります。